

市田支店地区において、人と農地の問題解決のための会合が行われ、その結果に基づき人・農地プランを決定したので、下記のとおり公表する。

平成31年3月8日

熊谷市長 富岡 清



記

1. 会合の対象とした区域
市田支店

2. 会合の結果を取りまとめた年月日
平成31年3月6日

3. 今後の地域の中心となる経営体の状況

○ 経営体数

法人	3経営体
個人	18経営体
集落営農（任意組織）	1組織
合計	22経営体

○ 農地の集積面積

68.5ha（区域内の農地面積504.7ha、集積率13.6%）

4. 今後の地域農業の在り方

現在、高齢化と後継者不足が深刻である。

また、管理できない農地が増加し、借り受けるにもバラバラである。恩田では荒れている農地が多い。耕作放棄地を20万円／1反で解消しても、農機具を持っていない場合は、赤字である。

集積するにも、水が出ない所は、大きくまとめすぎても耕作できなくなってしまう。

また、交付対象外水田の扱いや農地の相続手続きの煩雑さも課題である。高低差がある農地の集積は難しいため、出来るところから集積を進めていく。

恩田～手島で農地中間管理事業の実施を検討してもよいと考える。

また、農地中間管理事業は理想だが、併せて基盤整備も実施しないと、借り手が見つからない。軽微なほ場整備以外も、費用を農地中間管理機構が全額負担してくれると良い。